様式３(2015.06改)

作成日　平成30年2月12日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900345
事業所名	グループホーム　白寿の里

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	２月、恒例の“はだか祭り”が近づいて来た。毎年、岐阜のグループの30名を超える裸男たちが、ホームを専用の休憩所として利用している。ホームではお酒とつまみを用意し、利用者は裸男の来訪を心待ちにしている。 ホームの防災訓練には、地域(老人会)の全面的な協力がある。訓練当日は、開始の1時間半以上も前から老人会メンバーが集まり、交通整理等を担当する。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	年間6回の運営推進会議が開催されており、利用者・家族の他に、行政代表として市・高齢介護課職員と地域包括支援センター職員、地域から区長、民生委員、老人会会長の参加がある。 ホームからの状況報告の後、参加者で意見交換をしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	特別な事情がない限り、運営推進会議に市・高齢介護課職員と地域包括支援センター職員が参加しており、行政はホームの状況を把握している。 生活保護受給者が3名入居しており、市の担当課と地域の老人会から定期的な慰問がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	2年間の任期で、家族代表が運営推進会議に出席して意見を述べている。 半数近くの家族が参加する家族会が毎年開催されており、恒例となった地域の“仕出し弁当”が利用者、家族、職員に大好評である。 3ヶ月ごとに発行される「白寿だより」が、ホームの状況や利用者の様子を家族に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	◎		